

■李良枝 小説家。国籍と祖国とに引き裂かれる帰化在日韓国人の矛盾を描いて文壇にデビューした。

いんげんじ

55年体制始 1955= 山梨県南都留郡西桂町で、在日韓国人2世に生まれる。日本名田中淑枝。

安保闘争 1960= 5歳 :

東京リビア 1964= 9歳 : 両親が日本国籍を取得したのに合わせ、日本人となる。

山梨県立吉田高等学校から、

石油ショック 1973=18歳 : 京都府立鴨沂高等学校に編入後、

民族意識に目ざめ、

アランポール事件 1975=20歳 : 早稲田大学社会学部2年で中退、民族差別による冤罪事件として知られる丸正事件の支援運動に加わる。

貿易摩擦始 1980=25歳 : 韓国語を学ぶため祖国に渡り、以後、日韓を往来して、韓国文化の影響を受け、

中曽根内閣 1982=27歳 : *ソウル大学に留学。韓国名の李良枝の名で、国籍と祖国とに引き裂かれる帰化在日韓国人家庭の葛藤を描いた「ナビ・タリオン」を発表、文壇にデビュー。

ディスプレイ 1983=28歳 : 「かづきめ」、

ジャンボ機墜落 1985=30歳 : 「刻」など、次々と発表し、

リクルート事件 1988=33歳 : 同大学国文科を卒業。*ソウルで祖国に留学した韓国人女性の日で日韓関係を見つめた「由熙」を発表、

昭和天皇没 1989=34歳 : *芥川賞を受賞した。舞踊家としても知られ、韓国の舞踊家金淑子に師事、この年ソウルで淑子の公演に出演したのをはじめ、山梨県でも公演。

梨花女子大学舞踊科大学院に学びつつ、

ソ連崩壊 1991=36歳 :

バブル崩壊 1992=37歳 : *長編「石の聲」執筆を始めたが、帰国中急性肺炎を起こし、没した。

没後「李良枝全集」が刊行された。